



2018年10月18日
東京地下鉄株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

東京メトロ×JR東日本共同プロジェクト 「TOKYO SPORTS STATION」の第5シリーズが始まります！！

東京地下鉄株式会社(代表取締役社長：山村明義、以下「東京メトロ」)と東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長：深澤祐二、以下「JR東日本」)は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京2020大会」)のオフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)として、東京2020大会の各競技の見どころ・観戦ポイントを紹介する「TOKYO SPORTS STATION」の第5シリーズを開始いたしますのでお知らせいたします。

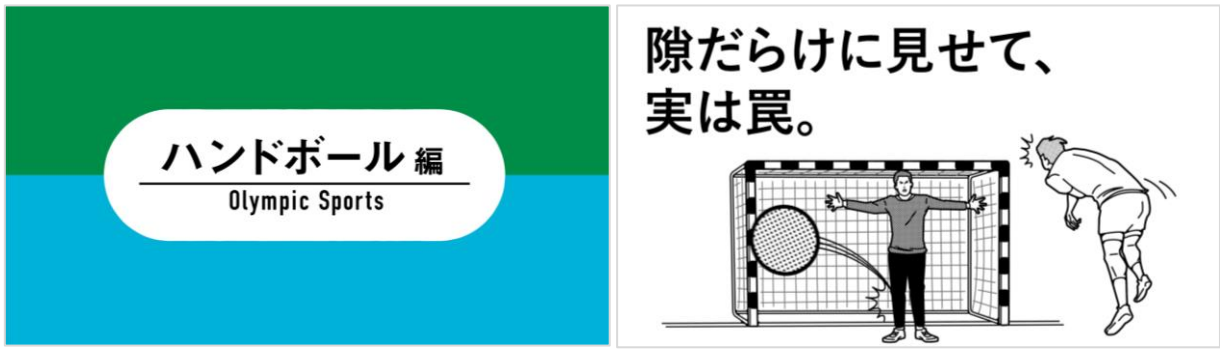
「TOKYO SPORTS STATION」は電車内のビジョンを中心に放映するほか、特設YouTubeチャンネルにてこれまでの放映分も含めてご覧いただけます。

皆さまの移動時間を更に楽しんでいただけるものとなっておりますので、ぜひご覧ください！


- | | | |
|---|------------|--|
| 1 | 主 催 | 東京メトロ、JR東日本 |
| 2 | 概 要 | 「TOKYO SPORTS STATION」第5シリーズ：2018年10月22日(月)～ |
| 3 | 第5シリーズ紹介競技 | #17 ハンドボール
#18 シットティングバレー
#19 視覚障害者柔道 |
| 4 | 動 画 展 開 | 東京メトロ：Tokyo Metro Vision
JR東日本：トレインチャンネル
※特設YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/c/TOKYOSPORTSSTATION
からもご覧いただけます。(2018年10月18日(木)14:00以降順次公開) |
| 5 | ポスター展開 | 東京メトロ、JR東日本の電車内にポスター掲出 |

■ 「TOKYO SPORTS STATION」競技紹介（# 17 ハンドボール）

・動画




・ポスター



Tokyo 2020に
乗り遅れないための


TOKYO SPORTS STATION #17



YouTubeで
動画も公開中!


ハンドボール 編
Olympic Sports

隙だらけに見せて、実は罠。




ハンドボールの見どころの1つが、選手同士の高度な駆け引き。様々なフェイントを仕掛けてゴールを狙うコートプレーヤーに対し、キーパーはわざとコースを空け、あえてそこにシュートを打たせてセーブするという頭脳プレーを使うことも。高速で繰り広げられるフェイントの応酬から目が離せません。

シュートが、直角に曲がる。



多彩なテクニックを駆使して、ゴールを狙うこの競技。特徴的なシュートの1つが、スピンシュートです。手でボールに強烈な回転をかけて地面にバウンドさせ、軌道を変えることでキーパーをかわします。トップ選手は、ボールを直角に曲げることが可能というから驚きです。


選手交代、1試合で50回超え。



選手交代の際、審判への申告が不要というのも特徴の1つ。何度でも交代可能なので、多い場合は1試合60分間で50回以上の選手交代が行われます。攻守で選手を入れ替えることはもちろん、勝負時にはキーパーを下げ、チーム全員で攻撃するなど、選手交代により生まれる幅広い戦略が魅力です。

【ハンドボールとは?】
前後半各30分間、20m×40mのコートでボールを投げ合い、得点を競います。チームはコートプレーヤー6人とキーパーの計7人で構成され、攻守が目まぐるしく変わる試合展開、激しい接触など、スピードとパワーを兼ね備えた競技です。選手交代も自由なため、息つく暇もない攻防が続きます。

【競技会場】
国立代々木競技場
(2018年10月現在の情報です)



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)



東京2020オフィシャルパートナー(旅客鉄道輸送サービス)